令和7年度普通会計決算
財政指標分析

令和8年9月

塩尻市 企画政策部 財政課

普通会計決算財政指標及び過去の財政指標の比較結果について

「令和7年度塩尻市普通会計決算財政指標」及び
「地方財政に関するダッシュボードを用いた過去の財政指標の比較結果」について説明します。

左側

－普通会計決算財政指標－

本市の令和7年度地方財政状況調査（決算統計）結果から算出した財政指標について説明しています。

財政指標

- 財政力指数
- 実質収支、実質収支比率
- 経常収支比率
- 実質公債費比率
- 将来負担比率
- 積立金残高比率
- 地方債残高比率

右側

【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）

デジタル庁の公式ホームページ上で公開されている「地方財政に関するダッシュボード」を用いて行った、過去の財政指標の経年比較結果及び長野県内類似団体比較結果について説明しています。

地方財政に関するダッシュボード



出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

1.自治体の財政力

財政力指数

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

財政力指数

○ **0.63%(±0%)**

（補足説明）

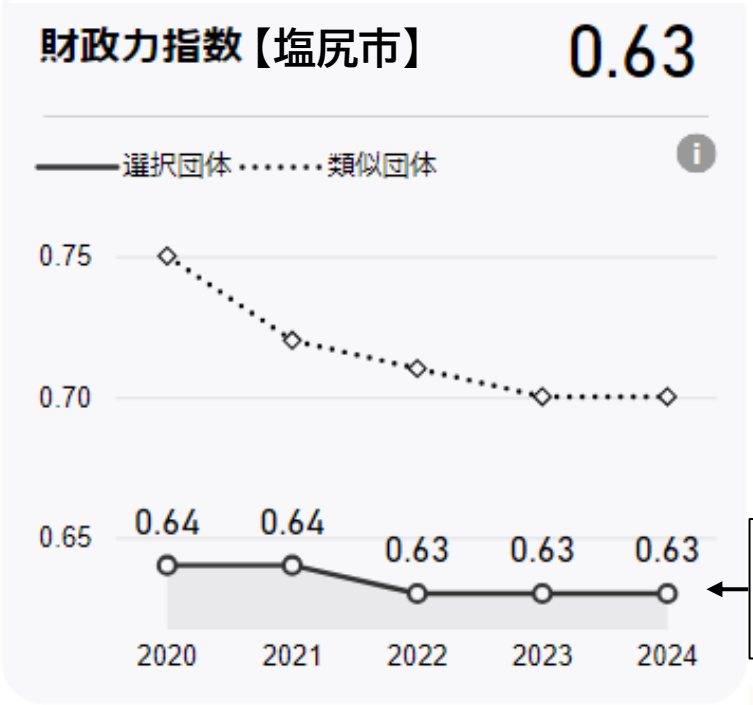
・自治体の財政力を示す指標。

・財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言える。

・財政力指数が1.0を超えると、普通交付税の不交付団体になる。（長野県内では軽井沢町のみ）

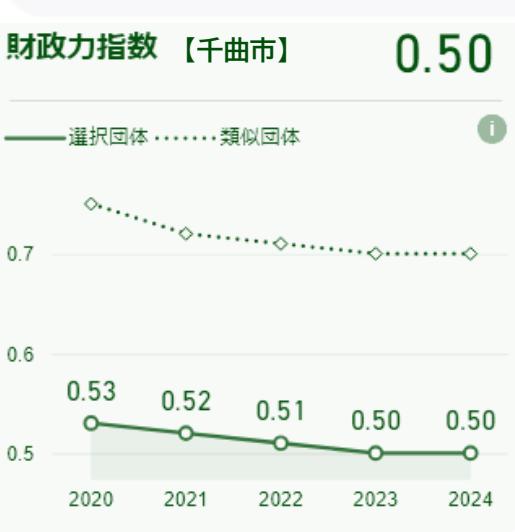
（指標の算定式）
財政力指数＝基準財政収入額÷基準財政需要額　※過去3年間の平均値

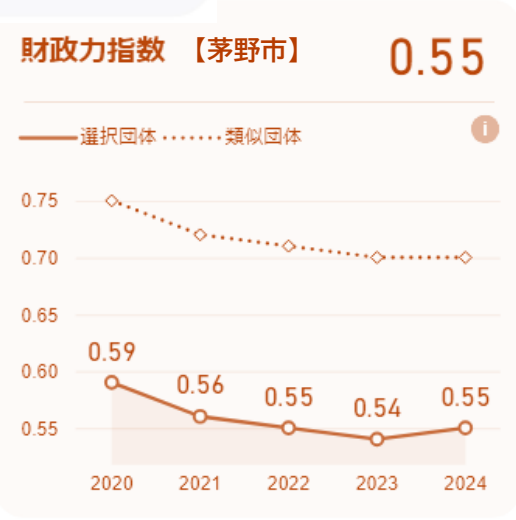
【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）



令和6年度県内19市比較

4位／19市





出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

2.資金収支の健全性

実質収支 ・ 実質収支比率

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

実質収支

5.1億円(+0.4億円)

実質収支比率

2.7%(+0.2%)

（補足説明）

・実質収支は、当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額をみるもの。

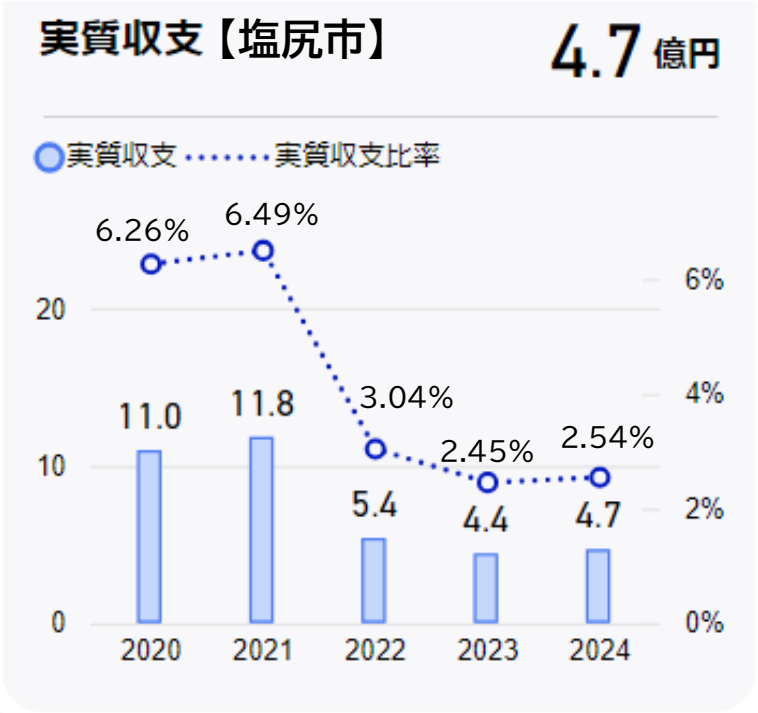
・一般的には、実質収支比率を3～5%の範囲に収めるような財政運営が理想的。

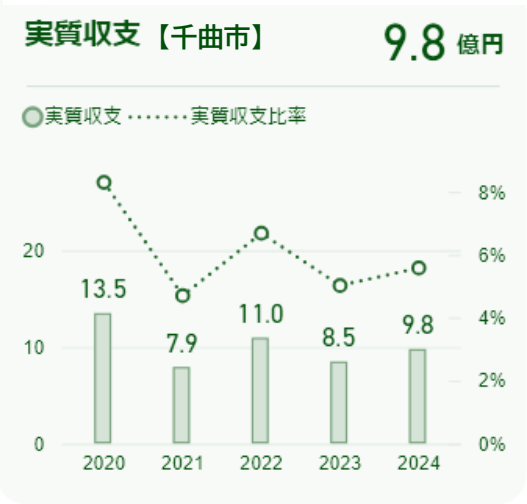
・実質収支比率が5%を超えた場合、予算の過大計上や、必要な事業をやらなかったことなどが疑われる。

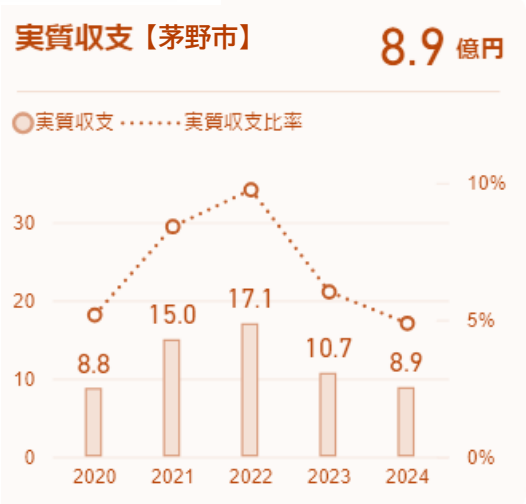
・本市は実質収支比率が3%を下回っていることから、今後の財政運営において、当該比率を上昇させる必要がある。

（指標の算定式）
実質収支＝歳入決算額－歳出決算額－翌年度に繰り越すべき財源
実質収支比率＝実質収支額÷標準財政規模

【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）







出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

3.財政構造の弾力性

経常収支比率

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

経常収支比率

○ **92.5%(+0.4%)**

（補足説明）

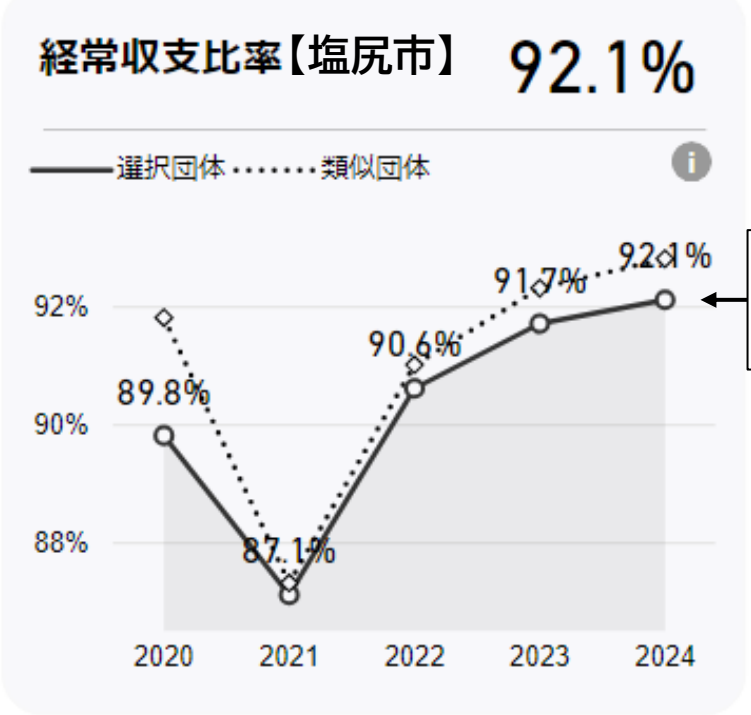
・経常的な経費に経常的な一般財源収入がどの程度充当されているかを見る比率。

・比率が高いほど、財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

・社会保障給付や公共施設等の維持補修の増大などにより、全国的に上昇傾向にある。

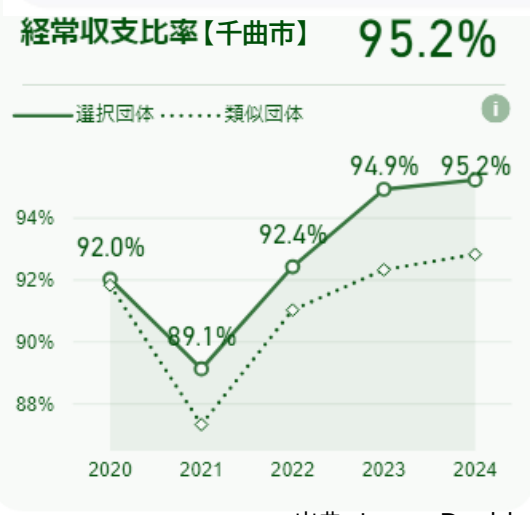
（指標の算定式）
経常収支比率＝ 人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源 / 地方税、普通交付税等の経常一般財源＋臨時財政対策債 ×100

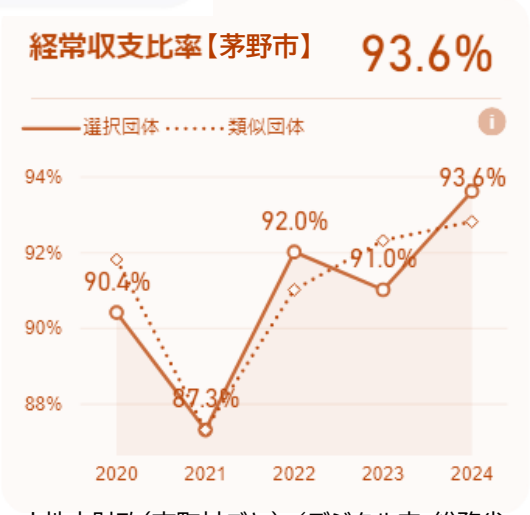
【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）



令和6年度県内19市比較

12位 ／19市





出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

3.財政構造の弾力性

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

実質公債費比率

○ **8.2%(+0.5%)**

（補足説明）

・地方債の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を見る指標。

・実質公債費比率が18%を上回った場合、「起債許可団体」に指定され、起債発行時に国又は県の許可が必要になる。

・早期健全化基準（25%）を上回った場合、財政健全化計画を定め、早期健全化を図らなければならない。

（指標の算定式）

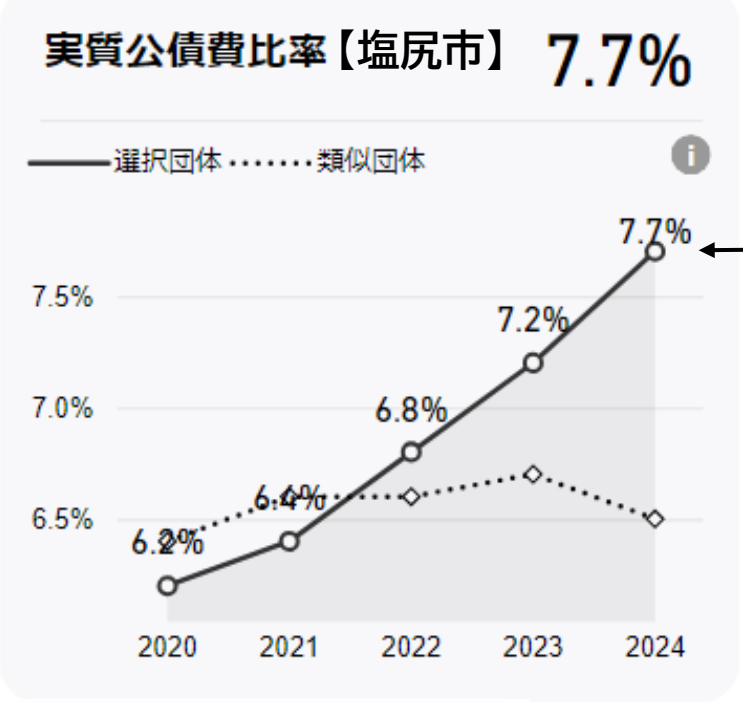
$$\text{実質公債費比率} = \frac{(A+B)-(C+D)}{E-D}$$

※過去3年間の平均値

A：地方債の元利償還金
B：準元利償還金
C：特定財源
D：元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額
E：標準財政規模

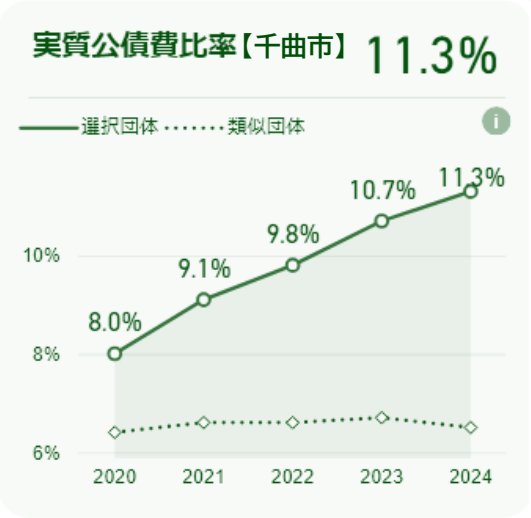
実質公債費比率

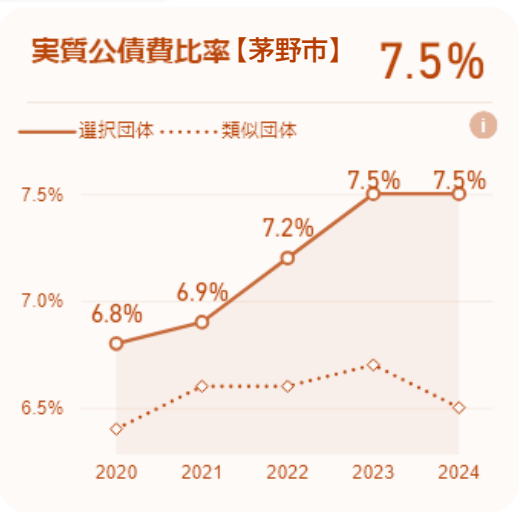
【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）



令和6年度県内19市比較

10位／19市





出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

4.財政の持続可能性

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

将来負担比率

○ **8.4%(－0.1%)**

（補足説明）

・自治体の一般会計等の地方債や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを見る指標。

・公営企業会計、土地開発公社、損失補償を行っている出資法人などに係る、将来本市普通会計が負担すべき実質的な負債も含んだ指標。

・早期健全化基準（350%）を上回った場合、財政健全化計画を定め、早期健全化を図らなければならない。

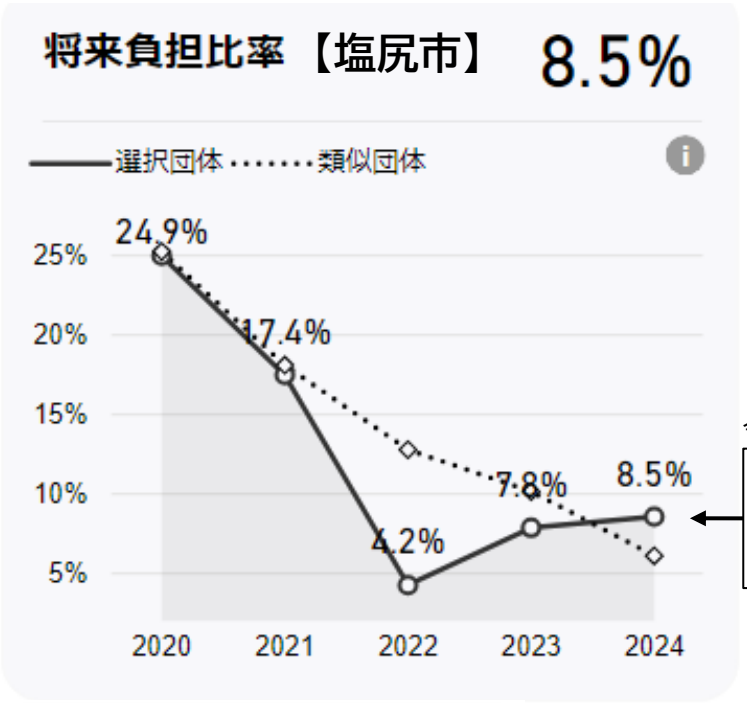
（指標の算定式）

$$\text{将来負担比率} = \frac{A-(B+C+D)}{E-F}$$

A：将来負担額
B：充当可能基金額
C：特定財源見込額
D：地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額
E：標準財政規模
F：元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額

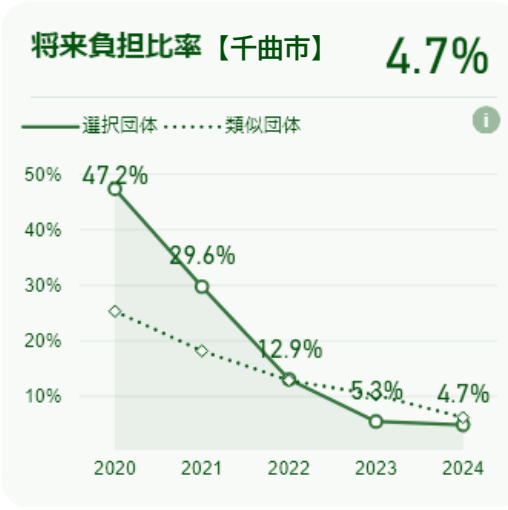
将来負担比率

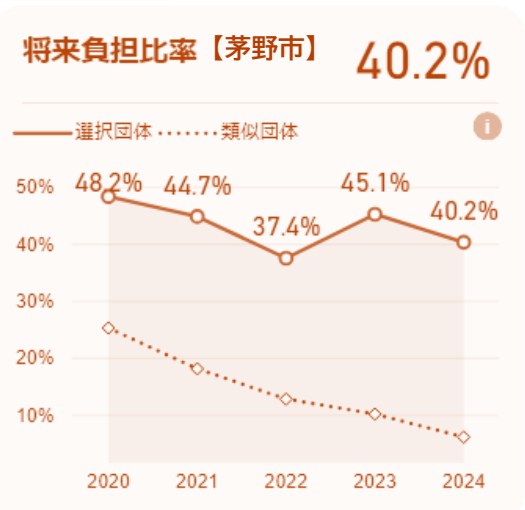
【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）



令和6年度県内19市比較

11位／19市





出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

4.財政の持続可能性

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

積立金現在高（総額）

91億円（+1億円）

積立金残高比率

47.7%

←その他特定目的基金　31億円（+1億円）

←減債基金　7億円（△0.3億円）

←財政調整基金

53億円
（+0.3億円）

財政調整基金残高比率

28%

（補足説明）

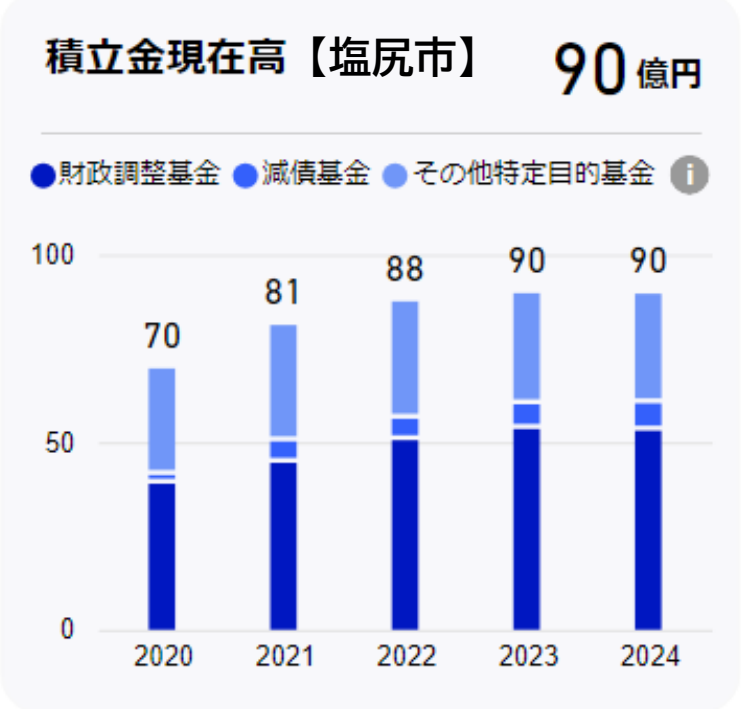
・財政調整基金は、自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金。

・一般的に、財政調整基金残高比率10%～20%が適正水準。

（指標の算定式）
積立金残高比率＝積立金現在高÷標準財政規模
財政調整基金残高比率＝財政調整基金現在高÷標準財政規模

積立金残高比率

【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）

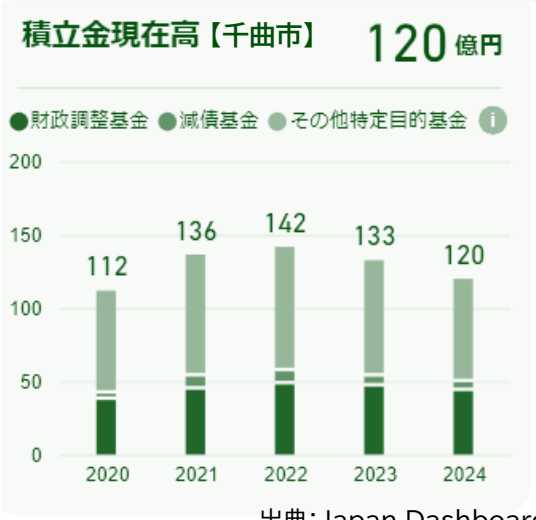


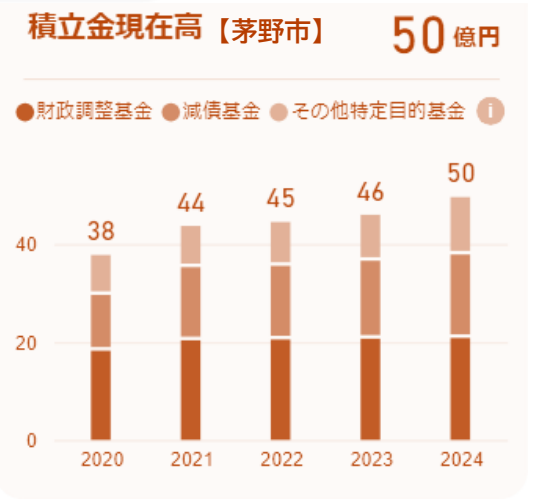
積立金残高比率

48.6%

13位
／19市

令和6年度県内19市比較





出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

4.財政の持続可能性

地方債残高比率

－普通会計決算財政指標－

R7年度_塩尻市

地方債現在高（総額）

259億円
（△15億円）

地方債残高比率

136.1%

←臨時財政対策債　96億円（△11億円）

←その他の地方債　163億円（△4億円）

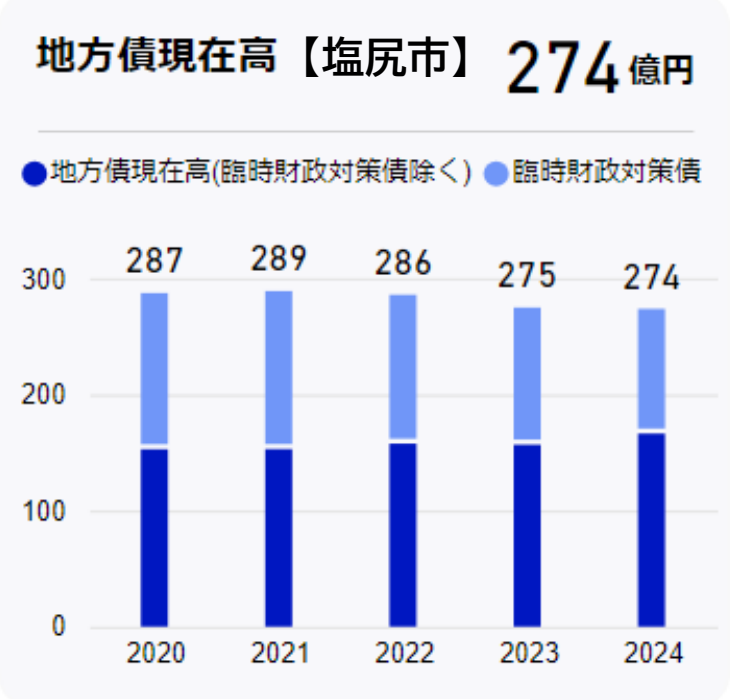
（補足説明）

・臨時財政対策債は、地方交付税総額の不足から、本来地方交付税で措置されるべき額に代えて発行を国から求められたもので、その償還財源は後年度に100%国から交付される地方債。

・その他の地方債は、地方財政法第5条但し書による建設地方債。

（指標の算定式）
地方債残高比率＝地方債現在高÷標準財政規模

【参考】過去の財政指標の比較結果（経年比較・長野県内類似団体比較）



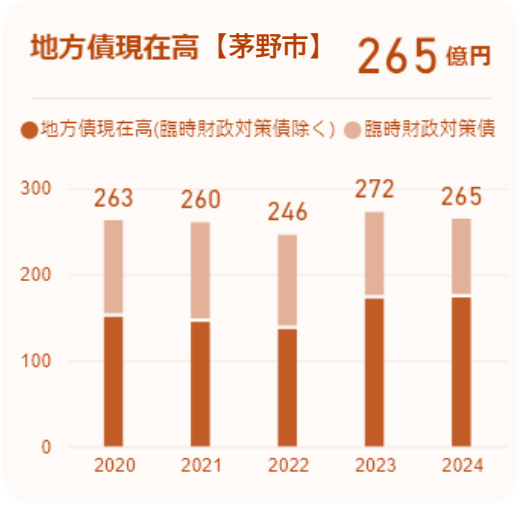
地方債残高比率

148.4%

14位／19市

令和6年度県内19市比較





出典：Japan Dashboard 地方財政（市町村ごと）／デジタル庁・総務省

（補足）広義の健全性

－統一的な基準による財務書類の指標－

R5年度_塩尻市

有形固定資産減価償却率（老朽化率）

58.7%

2位 ／19市

（県内19市平均64.9%）

（補足説明）

・自治体が所有する建物、道路などの有形固定資産が、取得後現在までにどれくらい経年劣化したかを表した比率。

・数値が大きいほど、所有している有形固定資産が経年劣化しており、大規模改修や建替えなどが近づいていることを表す。

・統一的な基準による財務書類に基づく数値の公表時期が、地方財政状況調査に基づく数値の公表時期よりも1年ほど遅いため、令和6年度数値の公表は令和8年冬、令和7年度数値の公表は令和9年冬になる見込み。

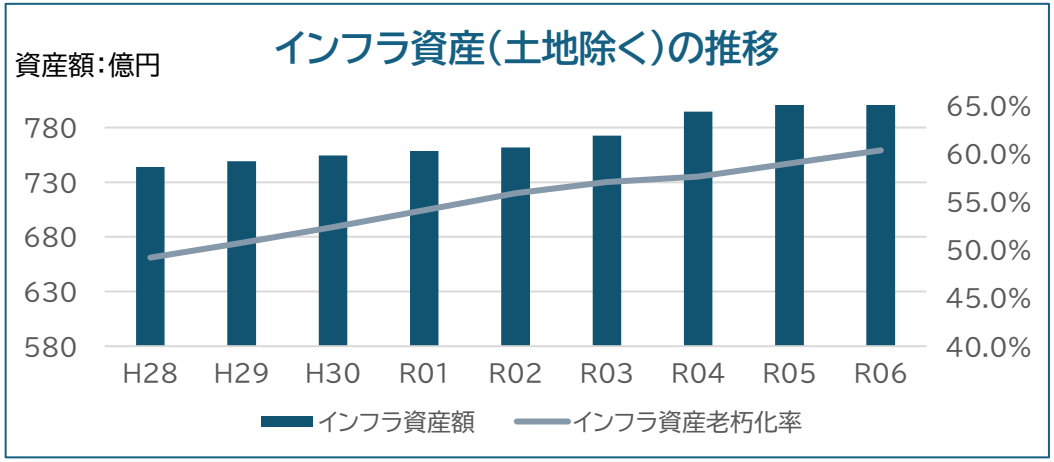
（指標の算定式）
有形固定資産減価償却率＝減価償却累計額÷有形固定資産取得額

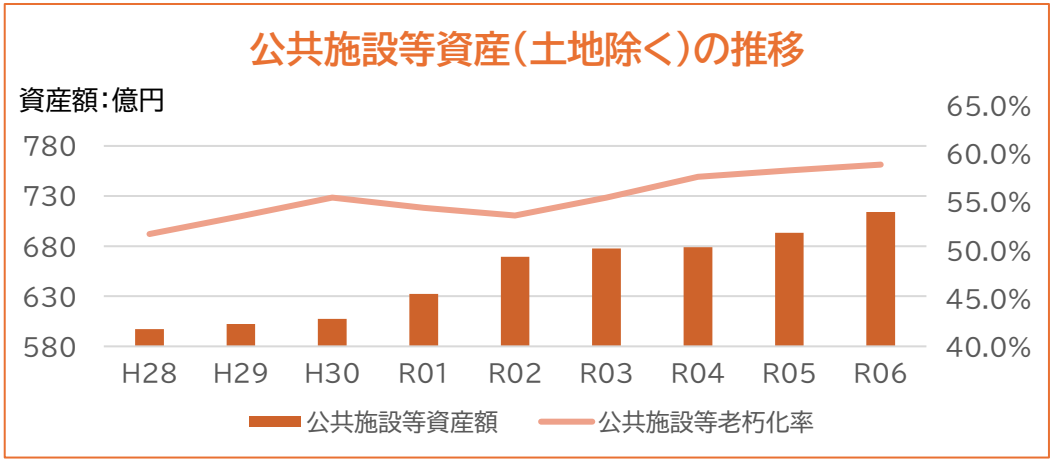
有形固定資産減価償却率（老朽化率）

【参考】有形固定資産減価償却率と資産額の推移（一般会計等財務書類）

・過去10年間の普通建設事業費決算額の平均は、インフラが年18億円、公共施設等が年20億円、総額が年38億円であった。

・年38億円投資してもなお有形固定資産減価償却率が上昇していることから、投資額の見直しが必要。





塩尻市

令和７年度普通会計決算
財政指標分析

塩尻市　企画政策部　財政課

〒399-0786　　塩尻市大門七番町３番３号

TEL：0263-52-0280　　FAX：0263-52-1158

E-mail：zaisei@city.shiojiri.lg.jp